

平成28年度事業報告

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

I. 平成 28 年度総括

平成 28 年度は、円安、株高の動きに支えられ、一時、景気回復の動きもみられたが、災害や異常気象の影響などもあり、景況感は一向に上向かない様相で推移した。日本のGDPの約6割を占める個人消費についても、総務省の家計調査によると2人以上世帯の実質消費支出は前年比1.7%減とマイナス幅は減少したものの3年連続の減少となり、小売販売額についても、経済産業省の調査によると4月以降毎月前年同月比マイナスを記録している。政府による「働き方改革」の推進により、女性や高齢者の就労環境改善が進む一方で、税や社会保障という個人給与総額に直結する制度に対する将来不安の払拭が個人消費回復のために求められている。昨年以降続く訪日外国人旅行者の増加は、ビザの取得要件の緩和拡大などもあり、人数で年間2,403万人(前年同期比21.8%増)、個人消費額で3兆7,476億円(前年同期比7.8%増)と過去最高の昨年を大きく上回り、インバウンドによる消費拡大は都市部から地方へ波及し、今後引き続き増加すると思われる。

SC業界に目をむけると、前年の60SCには及ばないものの54SCが新たにオープンし、日本全国のSC総数は3,211となった。特徴としては、個人の消費性向の流れが買い物中心の「モノ」指向から、体験型消費への傾向が一層顕著になっており、施設や運営面において積極的に「コト」消費への取り組みを進め、来店客の増加を図っている。また、立地については、人口減少等の流れを受け郊外型SCの開発が減少する一方で都市型の再開発型SCや他業態からSC業態への転換などがあり、都市部へのシフトがみられる。売上については、乱高下する経済動向や異常気象等の影響により個人消費が低調であった影響を受け、既存SC売上高前年比は▲1.1%と3年ぶりにマイナスとなったが、新規開業店を含めた全SCベースでの年間売上高(推計)は、31兆1,241億円と前年比+0.1%で、昨年に比べ伸びは鈍化したものの堅調に推移している。

さて、当協会は、SC業界の抱える様々な課題の中から、喫緊の課題である人材不足について、5月の総会において「人材確保対策への取り組み」をまとめ、6月以降会員と協会が一体となってその実施に向けた各種の取り組みを行ってきた。また、人材確保の一環でもある、SCで働く販売員のモチベーションアップを目的としたSC接客マイスター制度は2年目を迎え、制度の認知度向上と受験者の増加を図ってきた。

また、東日本大震災・熊本地震復興支援については、熊本、大分の被災会員企業への迅速な支援を行うとともに、前年に引き続き、SCビジネスフェアにて「復興応援コーナー」を設置し、宮城、岩手、福島の商品販路拡大への協力等を行った。

協会は、会員の皆様が利用しやすい協会事務所とするため、昨年20年ぶりに中央区勝どきから文京区後楽に移転し、新たな環境で業務を開始した。

(※数字は、2016年1月～12月の統計データ)

Ⅱ. 総会、理事会、企画会議

(1) 定期総会 <5月19日>

- ①2016 中期経営計画(案)について
- ②平成 27 年度事業報告について
- ③平成 27 年度決算報告について
- ④平成 28 年度事業計画について
- ⑤平成 28 年度収支予算について
- ⑥人材確保対策(案)について
- ⑦第 7 回日本SC大賞・第 5 回地域貢献大賞の選考について
- ⑧定款の変更(案)について
- ⑨理事の選任について
- ⑩その他(報告事項)
 - 1)熊本地震の協会对応について
 - 2)平成 28 年度 専門委員会委員長・支部長
 - 3)相談役の辞任について

(2) 臨時総会 <10月28日>

- ①理事の選任について

(3) 第 1 回理事会 <4月27日>

- ①入会、退会について
- ②2016 中期経営計画(案)について
- ③平成 27 年度事業報告について
- ④平成 27 年度決算報告について
- ⑤平成 28 年度事業計画について
- ⑥平成 28 年度収支予算について
- ⑦人材確保対策(案)について
- ⑧第 7 回日本SC大賞・第 5 回地域貢献大賞の選考について
- ⑨第 44 回定期総会の開催について
- ⑩事務局組織の再編について
- ⑪事務局規程の改定について
- ⑫定款の変更(案)について
- ⑬その他
 - 1)熊本地震の協会对応について
 - 2)相談役の辞任について

(4)第2回理事会 <9月30日> (書面決議)

- ①臨時総会の開催について

(5)第3回理事会 <10月28日>

- ①入会、退会について
- ②平成28年度上半期事業報告について
- ③平成28年度上半期収支報告について
- ④第45回定期総会の開催について
- ⑤第42回日本SC全国大会の開催について
- ⑥平成29年度税制改正要望について
- ⑦専務理事の選任について

(6)第1回企画会議 <10月17日>

- ①入会、退会について
- ②平成28年度上半期事業報告について
- ③平成28年度上半期収支報告について
- ④第45回定期総会の開催について
- ⑤第42回日本SC全国大会の開催について
- ⑥平成29年度税制改正要望について
- ⑦理事の選任について

(7)第2回企画会議 <3月23日>

- ①入会、退会について
- ②委員会の再編について
- ③平成28年度事業活動総括、平成29年度事業計画について
- ④平成28年度収支見込み、平成29年度収支予算について
- ⑤人材確保対策への取組みについて
- ⑥第7回日本SC大賞、第5回地域貢献大賞の選考結果について
- ⑦第45回定期総会の開催について
- ⑧事務局組織の再編について
- ⑨役員報酬限度額の承認について

Ⅲ. 支部活動報告

(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)

支部名	活動報告
北海道支部	<p>(1) 運営委員会 ①第 1 回(9 月 21 日・4 丁目プラザ役員室)</p> <p>(2) 支部主催セミナー(9 月 21 日・ホテルオークラ札幌) 参加者 55 名 「人材確保について」 講師: (株)グルメ杵屋 代表取締役社長 棕本 充士 氏</p> <p>(3) 「第 7 回日本SC大賞・第 5 回地域貢献大賞」ノミネート委員会 ①第 1 回(9 月 21 日・4 丁目プラザ役員室) ②第 2 回(10 月 26 日・4 丁目プラザ役員室)</p> <p>(4) SC接客ロールプレイングコンテスト北海道大会 (11 月 11 日・JRタワープラニスホール) 出場者 43 名 (27 年度 44 名)</p> <p>(5) 支部総会(平成 29 年 3 月 17 日・ホテルオークラ札幌)</p> <p>(6) 北海道万引防止ウィーブネットワーク定期総会出席(6 月)</p>
東北支部	<p>(1) 運営委員会 ①第 1 回(6 月 10 日・伊達の牛たん本舗本店) ②第 2 回(10 月 13 日・ホテルメトロポリタン仙台) ③第 3 回(平成 29 年 2 月 20 日・ホテルメトロポリタン仙台)</p> <p>(2) ロープレ事前研修会(10 月 12 日・ホテルメトロポリタン仙台) 参加者 32 名 講師:(株)三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ 人財ソリューション事業部教育シニアコンサルタント 西宮 ひと美 氏</p> <p>(3) 秋の研修会&懇親ゴルフコンペ (10 月 13 日・ホテルメトロポリタン仙台、14 日・西仙台カントリークラブ) 参加者 29 名 「きびしさの中にある本当のやさしさ」 講師:仙台ベルフィーユ 監督 (元)全日本女子バレーボールチーム 監督 葛和 伸元 氏</p> <p>(4) 「第 7 回日本SC大賞・第 5 回地域貢献大賞」ノミネート委員会 ①第 1 回(9 月 2 日・ホテルメトロポリタン仙台) ②第 2 回(10 月 27 日・伊達の牛たん本舗本店)</p> <p>(5) SC接客ロールプレイングコンテスト東北大会 (11 月 7 日～8 日・ホテルメトロポリタン仙台) 出場者 63 名 (27 年度 62 名)</p> <p>(6) 支部総会(平成 29 年 2 月 20 日・ホテルメトロポリタン仙台) 参加者 46 名 ・公共政策説明会「クレジット取引におけるセキュリティ強化について」 講師:経済産業省 商務流通保安グループ 商取引監督課 課長補佐 原 充 氏 ・新春講演会「東北のインバウンド等について」 講師:東北観光推進機構 専務理事 紺野 純一 氏 ・賀詞交歓会</p> <p>(7) 人材育成委員会地方開催セミナー(平成 29 年 3 月 22 日・ホテルメトロポリタン仙台) 「観光振興と地域貢献セミナー」 第 1 単元「仙台空港民営化による観光誘致と地域貢献、その効果」 講師:仙台国際空港(株) 代表取締役社長 岩井 卓也 氏</p>

	<p>第2単元「(株)楽天野球団(東北楽天ゴールデンイーグルス)のスポーツを通じた東北の地域活性化活動」</p> <p>講師:(株)楽天野球団 執行役員 営業本部長 森井 誠之 氏</p> <p>第3単元「<パネルディスカッション> SCの観光客誘致と地域貢献の取組み」</p> <p>パネリスト:(協)江釣子ショッピングセンター 事務局次長 平藤 明 氏</p> <p> 仙台ターミナルビル(株) 取締役SC事業本部エリア事業推進部長 小原 能和 氏</p> <p> 三菱地所・サイモン(株) 仙台プレミアム・アウトレット支配人 高柳 浩士 氏</p> <p>コーディネーター:(株)フロンティアリアル研究所 代表取締役、(株)船場 顧問 小嶋 彰 氏</p>
<p>関東・甲信越 支部</p>	<p>(1)運営委員会</p> <p>①第1回(7月25日・協会会議室)</p> <p>②第2回(12月7日・協会会議室)</p> <p>(2)SC業界若手育成研究会</p> <p>①第7回SC業界若手育成研究会 (5月26日・TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター) 参加者 60名</p> <p>(第1部)「いま思うこと」</p> <p>講師:(一社)日本ショッピングセンター協会 会長 清野 智 氏 (東日本旅客鉄道(株) 取締役会長)</p> <p>(第2部)「進化する東京駅と構想力」</p> <p>講師:(一社)日本ショッピングセンター協会 前関東・甲信越支部支部長 (株)鉄道会館 取締役相談役 野崎 哲夫 氏</p> <p>(第3部)参加者交流会</p> <p>②第8回SC業界若手研究会(3月24日)</p> <p>「次世代たばこのショッピングセンターでの取り扱いについて」</p> <p>(第1部)基調講演「次世代たばこについて」</p> <p>講師:日本たばこ産業(株) たばこ事業本部 マーケティング&セールスグループ EPマーケティング部 課長 長江 孝昌 氏</p> <p>(第2部)パネルディスカッション</p> <p>「次世代たばこのショッピングセンターでの取り扱いについて」</p> <p>パネリスト:日本たばこ産業(株) たばこ事業本部 マーケティング&セールスグループ EPマーケティング部 課長 長江 孝昌 氏 (株)プライムプレイス VIOROオペレーションセンター長 鳴井 智信 氏 (株)クレア 常務取締役 町田 利恵 氏</p> <p>コーディネーター:三菱地所・サイモン(株) 佐野プレミアム・アウトレット マネージャー オペレーション担当 鴨志田 夕 氏</p> <p>(第3部)参加者交流会</p> <p>(3)単館SC研究会</p> <p>①第18回単館SC研究会(5月11日)</p> <p>②第19回単館SC研究会(8月8日)</p> <p>③単館SC研究会北海道マルシェ視察ツアー(9月16日～17日)</p> <p>④第20回単館SC研究会(11月29日)</p> <p>⑤単館SC研究会 Presents SCビジネスフェア2017 主催者企画A(1月25日)</p> <p>「地方単館SCの強み」</p> <p>パネリスト:(協)江釣子ショッピングセンター 事務局次長 平藤 明 氏</p> <p>(株)札幌副都心開発公社 取締役SC事業部兼文化事業部部长 西内 敦久 氏</p> <p>静鉄プロパティマネジメント(株) 常務取締役 セノバ事業部長 セノバリニューアル推進プロジェクトチーム 後藤 誠一 氏</p> <p>コーディネーター:(株)フォルマ 代表取締役社長(単館SC研究会座長) 田中 篤也 氏</p> <p>⑥第21回単館SC研究会(3月29日)</p> <p>(4)SC視察研修会</p> <p>「セブンパーク アリオ柏 視察研修会」(3月22日)</p>

	<p>(第1部)レクチャー・質疑応答 「セブンパーク アリオ柏 施設概要」 講師:(株)セブン&アイ・クリエイトリック セブンパークアリオ柏 所長 佐々木 光成 氏</p> <p>(第2部)館内視察 (第3部)参加者交流会</p> <p>(5)「第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞」ノミネート委員会 ①第1回ノミネート委員会(9月書面決議) ②第2回ノミネート委員会(10月24日・協会会議室) ③第3回ノミネート委員会(11月21日・協会会議室)</p> <p>(6)SC接客ロールプレイングコンテスト関東・甲信越大会 ①関東・甲信越地区(9月5日～9日・丸ビルホール) 出場者292名(27年度289名) ②東京地区(9月26日～29日・KFCホール) 出場者197名(27年度183名)</p> <p>(7)支部総会(3月6日・協会会議室) 参加者53名 (第1部)支部総会 (第2部)講演会「どうなる日本の政治と経済」 講師:橋本 五郎 氏 読売新聞特別編集委員 (第3部)懇親会</p>
<p>中部支部</p>	<p>(1)運営委員会 ①第1回(7月11日・AP名古屋) ②第2回(12月8日・AP名古屋) ③第3回(2月22日・AP名古屋)</p> <p>(2)支部主催研修会(12月8日・AP名古屋) 参加者29名 「SCスタッフの雇用と販売職の将来を考える ～採用困窮地名古屋エリアにおける労働環境の問題と展望～」 講師:テンプホールディングス(株) グループ営業本部ソリューション営業統括部 アカウントマネージャー 我田 美喜 氏 (株)センチュリーアンドカンパニー 取締役営業企画部長 林 浩昭 氏</p> <p>(3)「第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞」ノミネート委員会 ①第1回(8月24日・AP名古屋) ②第2回(10月26日・三交不動産)</p> <p>(4)SC接客ロールプレイングコンテスト中部大会(10月4～5日・名古屋市中小企業振興会館) 出場者100名(27年度98名)</p> <p>(5)支部総会(2月22日・AP名古屋) 参加者39名 記念講演会 講演①「伊勢志摩サミットの取り組みと総括」 講師:伊勢志摩サミット三重県民会議 事務局長 大橋 範秀 氏 (三重県 雇用経済部 伊勢志摩サミット推進局 次長) 講演②「ジュニアサミットの振り返りとその後の取り組みについて」 講師:桑名市 経済環境部 次長 平野 勝弘 氏</p>

<p>近畿支部</p>	<p>(1)運営委員会 ①第1回(7月20日・大阪ターミナルビル会議室) ②第2回(12月2日・大阪ターミナルビル会議室)</p> <p>(2)SC研究会 ①第1回(8月4日・大阪ターミナルビル会議室) 『“専門店”にとって出店したいSC/“SC”にとって出店してほしい専門店』 ②第2回(9月28日・大阪ターミナルビル会議室) 『SC研究会のあるべき姿』 ③第3回(11月14日・大阪ターミナルビル会議室) ※SC経営士会近畿ブロックと合同開催 『“次世代型SC”構築に向けた現状の課題と今後の取り組み』 講師:(株)イメージーションプロみなみかぜ 代表取締役 ハーレー岡本 氏 ④第4回(2月8日・大阪ターミナルビル会議室) 『SCの“いままで”と“これから”を考える』 講師:(一社)日本ショッピングセンター協会 事務局長 村上 哲也 氏</p> <p>(3)「第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞」ノミネート委員会 ①第1回(9月5日・大阪ターミナルビル会議室) ②第2回(10月24日・大阪ターミナルビル会議室)</p> <p>(4)SC接客ロールプレイングコンテスト近畿大会(10月18日～21日・ホテル京阪京橋) 出場者 166名 (27年度 175名)</p> <p>(5)支部総会(3月8日・ホテルグランヴィア大阪) 参加者 66名 講演会(SCフォーラム):「3月11日のJR東日本とそれから、そして未来へ」 講師:(一社)日本ショッピングセンター協会 会長 清野 智 氏 (東日本旅客鉄道(株) 取締役会長)</p>
<p>中国・四国 支部</p>	<p>(1)運営委員会 ①第1回(8月4日・広島駅ビルアッセ会議室) ②第2回(11月30日・広島駅ビルアッセ会議室) ③第3回(3月3日・四国旅客鉄道会議室)</p> <p>(2)会員委員会との情報交換会(9月30日・広島駅ビルアッセホール)</p> <p>(3)支部主催講演会(11月30日・ホテルグランヴィア広島) 「熊本地震時の対応と復旧・今後の危機管理について」 講師:(株)イズミ 専務取締役営業本部長 梶原 雄一朗 氏</p> <p>(4)人材育成委員会主催地方開催セミナー(2月10日・山陽SC開発会議室) 「ショップマネジメント力強化」 講師:(株)ディンプル 教育トレーナー 藪 陽子 氏 東急不動産SCマネジメント(株) 首都圏運営本部 PM営業部 統括部長 松井 康明 氏 (株)ユナイテッドアローズ 経営戦略本部 人事部教育チーム ファシリテーター 五十嵐 保行 氏</p> <p>(5)「第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞」ノミネート委員会 ①第1回(8月30日・広島駅ビルアッセ会議室) ②第2回(9月30日・広島駅ビルアッセ会議室) ③第3回(11月30日・広島駅アッセ会議室)</p> <p>(6)SC接客ロールプレイングコンテスト中国・四国大会 (10月31日～11月1日・広島YMCAホール) 出場者 86名 (27年度 91名)</p> <p>(7)支部総会(3月3日・四国旅客鉄道会議室) 講演会・懇親会(3月3日・JRホテルクレメント高松) 参加者 49名</p>

	<p>「人手不足時代のスタッフ人材確保～働き甲斐のある職場へ～」 講師:(株)ストライプインターナショナル 取締役兼CHO 人事本部長 神田 充教 氏 オタフクホールディングス(株) 人事部 執行役員 部長 島原 由里子 氏 コーディネーター:(株)リゾーム 専務取締役 金藤 純子 氏</p>
九州・沖縄 支部	<p>(1)第1回運営委員会(9月16日・仙台ターミナルビル会議室) (2)視察研修会(9月16日～17日) 参加者 35名 「エスパル仙台東館と仙台パルコ2の開業&女川の復興 視察研修会」 講師:仙台ターミナルビル(株) エスパル仙台 営業部 次長 大村 信裕 氏 (株)パルコ 仙台店 営業課 課長 田中 庸一郎 氏 女川みらい創造(株) 専務取締役 近江 弘一 氏 (3)「第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞」ノミネート委員会 ①第1回(9月7日・福岡駅ビル会議室) ②第2回(11月22日・福岡駅ビル会議室) (4)SC接客ロールプレイングコンテスト九州・沖縄大会(11月15日～16日・西鉄ホール) 出場者 80名 (27年度 79名) (5)支部総会(3月21日・西鉄グランドホテル) 参加者 64名 セミナー「新しい大人消費が日本を動かす～高齢社会の転換がビジネスパワーを生む～」 講師:(株)博報堂 新しい大人文化研究所 統括プロデューサー 阪本 節郎 氏</p>

IV. 委員会事業報告

1. 総務委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回委員会<7月21日>

- ①入会、退会について
- ②平成28年度第1四半期事業報告について
- ③平成28年度第1四半期収支報告について
- ④人材確保対策への取組みの進捗状況について

(2) 第2回委員会<10月17日>

- ①入会、退会について
- ②平成28年度上半期事業報告について
- ③平成28年度上半期収支報告について
- ④人材確保対策への取組みの進捗状況について
- ⑤第45回定期総会の開催について
- ⑥第42回日本SC全国大会の開催について
- ⑦平成29年度税制改正要望について
- ⑧理事の選任について

(3) 第3回委員会<3月23日>

- ①入会、退会について
- ②委員会の再編について
- ③平成28年度事業活動総括、平成29年度事業計画について
- ④平成28年度収支見込み、平成29年度収支予算について
- ⑤人材確保対策への取組みについて
- ⑥第7回日本SC大賞、第5回地域貢献大賞の選考結果について
- ⑦第45回定期総会の開催について
- ⑧事務局組織の再編について
- ⑨役員報酬限度額の承認について

2. 会員委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回委員会<7月5日>

- ①入退会について
- ②会員サービスについて
- ③協会活動のPRについて
- ④会員拡充について
- ⑤退会防止策について
- ⑥会員名簿の作成について

(2) 第2回委員会<9月30日> ※広島開催

- ①入退会について
- ②会員サービスについて
- ③協会活動のPRについて
- ④会員拡充について
- ⑤協会事業の会員参加率の現状確認について

(3) 第3回委員会<12月16日>

- ①入退会について
- ②会員サービスについて
- ③会員拡充について
- ④協会事業の会員参加率の現状確認について

(4) 第4回委員会<2月24日>

- ①入退会について
- ②平成28年度事業報告と収支(見込)について
- ③平成29年度基本方針・事業計画・予算(案)について

2. 主な活動報告

(1) 総括

会員サービスの一層の充実を目的に、他の委員会や支部と連携して会員支援活動を行った。

主な取組みとして9月に開催した第2回会員委員会を広島で開催し、中国・四国支部管内の会員企業と情報交換を行った。また3月には人材確保対策の取組みの一環としてSCディベロッパーとして取り組むべきテナント従業員へのESについて、定評のある柏高島屋ステーションモールにて研修会と情報交換会を行った。

会員数については985社を目標とし会員拡充に取り組んだが、第二種正会員の退会数の増に加え、入会数が例年よりも減少したことにより、970社と目標を下回る結果となった。

(2)事業報告

①入退会状況(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	平成28年度					
	前期末	入会	退会	種別変更	期末	増減
第一種正会員	328	10	14		324	-4
第二種正会員	364	16	39	1	342	-22
賛助会員	295	30	20	-1	304	9
合計	987	56	73		970	-17

※種別変更企業 (株)トヨタエンタプライズ

②「インターナショナル・ファッションフェア」ブース出展

9月26日～28日の3日間織研新聞社主催「インターナショナル・ファッションフェア」に、SC協会ブースを出展し、協会活動のPR、入会勧誘活動を行った。

③支部会員との交流

第2回委員会を広島で開催し、委員会後には中国・四国支部との情報交換会、懇親会を開催し、中国・四国支部会員との交流を図った。

④ES研修会開催

3月16日に人材確保対策の取組みの一環としてSCディベロッパーとして取り組むべきテナント従業員へのESについて、定評のある柏高島屋ステーションモールにて研修会と情報交換会を行った。

3. 公共政策・環境委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1)公共政策・環境委員会 第1回委員会<7月12日>

1)報告事項

- ①委員の交代について
- ②協会事業の報告
- ③前回委員会報告

2)審議事項

- ①平成28年度公共政策・環境委員会所管事業の進め方について
- ②平成28年度第1回環境小委員会の審議内容について

(2)公共政策・環境委員会 第2回委員会<10月12日>

1)報告事項

- ①前回委員会報告
- ②官民連携による消費マインド喚起策～プレミアムフライデー～について

2)審議事項

- ①平成29年度税制改正要望について
- ②人材確保対策への取組みについて
(「SC内の託児所・介護施設設置のための環境整備」及び「販売職への外国人労働者への門戸開放」ワーキンググループ開催結果報告について)
- ③地域貢献ガイドラインフォローアップについて

3)内閣府ご担当者様からのご説明

- ①子ども・子育て支援新制度・企業主導型保育事業について

(3)公共政策・環境委員会 第3回委員会<12月12日>

1)報告事項

- ①前回委員会報告
- ②第2回環境小委員会開催結果について

2)審議事項

- ①プレミアムフライデーへの対応について
- ②企業主導型保育事業の会員向け資料の作成等について

(4)公共政策・環境委員会 第4回委員会<3月7日>

1)報告事項

- ①前回委員会報告
- ②平成29年度税制改正要望結果について
- ③平成28年度第3回環境小委員会(2月28日開催)報告
- ④「企業主導型保育事業」(人材確保の取組み)について
- ⑤プレミアムフライデーについて
- ⑥平成28年度活動総括
- ⑦平成28年度収支見込

2)審議事項

- ①ベンチマーク制度の導入について
- ②平成29年度基本方針及び事業計画骨子(案)
- ③平成29年度収支予算(案)

3)その他

- ①平成29年度以降の「環境小委員会」について

(5)第1回環境小委員会<7月4日>

- 1)報告事項
 - ①委員の交代について
 - ②協会事業の報告
 - ③前回委員会報告
 - ④平成28年度事業計画について
- 2)審議事項
 - ①平成28年度年間業務スケジュール(案)について
 - ②平成28年度エネルギー調査実施(案)について
 - ③クールシェア・ウォームシェア参加(案)について
 - ④環境セミナーの企画骨子(案)について
 - ⑤ベンチマーク制度について

(6)第2回環境小委員会<11月22日>

- 1)報告事項
 - ①前回委員会報告
 - ②平成28年度エネルギー量調査(平成27年度分)実施結果について
 - ③クールシェア結果、ウォームシェア参加について
 - ④平成28年度第1回工場等判断基準ワーキンググループについて
- 2)審議事項
 - ①ベンチマーク制度について
 - ②環境セミナー企画(案)について
- 3)経済産業省 資源エネルギー庁ご担当者様からのご説明
 - ①「ネガワット取引の現状と今後」について

(7)第3回環境小委員会<2月28日>

- 1)報告事項
 - ①前回委員会報告
 - ②低炭素社会実行計画フォローアップWG報告について
 - ③工場等判断ワーキンググループ(ベンチマーク制度)について
 - ④環境セミナーの開催について
 - ⑤平成28年度環境小委員会 事業総括と収支見込
 - ⑥平成28年度SCエネルギー量調査結果の追加報告について
- 2)審議事項
 - ①ベンチマーク制度の導入について
 - ②平成28年度エネルギー調査実施(案)について
 - ③クールシェア・ウォームシェア参加(案)について
 - ④環境セミナーの企画骨子(案)について
 - ⑤ベンチマーク制度について
- 3)その他
 - ①来年度以降の本小委員会について

2. 主な活動報告

(1)総括

公共政策・環境委員会の平成 28 年度事業で最大のトピックスは人材確保への取り組みであった。本委員会では、「SC内の託児所・介護施設設置のための環境整備」及び「販売職への外国人労働者への門戸開放」に関するワーキンググループをそれぞれ設置し、取り組みを進めた。

また、平成 29 年 2 月 24 日からスタートしたプレミアムフライデーについては、経済産業省と連携して対応、そのコンセプトなどについて意見交換をするとともに、会員企業に周知を図るなど、政府施策に積極的に協力した。

(2)事業報告

1) 公共政策総括

①東日本大震災・熊本地震復興への長期的な支援の継続実施

東日本大震災復興支援の継続的活動として、平成 29 年 1 月開催の全国大会・ビジネスフェア会場に「復興応援コーナー」を設置、本委員会も協力し、各県の特産品販路拡大を図った。

②平成 29 年度税制改正要望

消費税免税制度の改正の他、人材確保への取組みの視点から、パート従業員の良好な雇用環境を整備するため「パート従業員の非課税限度額(103 万円)の引き上げ」を要望した。

③人材確保への取組み

「SC内の託児所・介護施設設置のための環境整備」においては平成 28 年 4 月より内閣府が開始した「企業主導型保育事業」に焦点を当てて協議、会員向けに説明会を開催した。「販売職への外国人労働者への門戸開放」についても協議、他団体と協力して提言していくこととなった。

④政府施策に対する協力

プレミアムフライデーについて経済産業省と連携して対応、「プレミアムフライデー推進協議会」に参画した。また、「安全・安心なクレジットカード利用環境整備に向けて」について説明会を開催、協会ホームページでも情報提供をした。その他の官公庁委員会等にも参画した。

2) 環境総括

①平成 28 年度エネルギー量実態調査(平成 27 年分)の実施

調査の結果、平成 28 年度(平成 27 年実測値)のエネルギー原単位は 0.120 kWh/m²・h となり、平成 27 年度(平成 26 年分)0.123 kWh/m²・h から 2.4%削減された。本調査結果は例年どおり経済産業省に提出した。

②環境セミナーなど省エネ・節電の普及活動の実施

「SCの環境対策と、省エネ・節電における新たな“コスト削減”を知る」をテーマにしたセミナーを 2 月 9 日(木)に開催し、38 名の参加を得た。

③生活者と協働した環境問題への取組み

平成 27 年度同様、環境省が参加を呼びかけているクールシェア、ウォームシェアに賛同する会員企業に参加を依頼した。

④政府施策に対する要望・提言

低炭素社会実行計画、ベンチマーク制度にて各ワーキンググループに参画した。

4. 国際委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1)第1回委員会<7月14日>

1) 報告事項

- ① 平成28年度事業計画骨子について
- ② 免税手続代行カウンターの設置状況について
- ③ 平成28年度税制改正について

2) 審議事項

- ① 平成28年度活動計画について
- ② 免税手続代行カウンター 支部説明会について
- ③ 国際交流について
- ④ 接客ロープレの海外普及計画について
- ⑤ 平成29年度税制改正要望について

(2)第2回委員会<10月19日>

1) 報告事項

- ① APRC(アジア太平洋調査委員会) / REConアジアについて
- ② 会員向けアウトバウンド支援交流会について
- ③ 免税手続代行カウンターについて
- ④ 平成29年度税制改正要望について

2) 審議事項

- ① 国際旅行博覧会の出展に関する調査について

(3)第3回委員会<3月21日>

1) 報告事項

- ① 会員向けアウトバウンド支援交流会 結果報告について
- ② 国際旅行博覧会の出展に関するヒアリング及びアンケート実施結果について
- ③ 平成28年度活動総括及び収支見込みについて

2) 審議事項

- ① 平成29年度事業計画骨子(案)について
- ② 平成29年度収支予算(案)について

2. 主な活動報告

(1) 総括

平成 28 年、訪日外国人旅行者数が 2,400 万人を超え、その数の多さとともに訪日旅行者の消費行動の変化が注目された。また、海外進出をするディベロッパーが増えてきており、SC業界においてもグローバル化の進展が見られた。こうしたなか、平成 28 年度は当委員会の活動テーマである、「インバウンド(訪日客)」「アウトバウンド(海外事業展開)」「国際交流」の 3 つを軸に下記のとおり活動を行った。なお、インバウンド(訪日客)対策として、公共政策・環境委員会と共同で「免税手続代行カウンター」導入に関する支部説明会を開催する予定だったが、希望がなく実施には至らなかった。

(2) 事業報告

1) インバウンド(訪日客)に関わる研究等

① 免税手続代行カウンターの設置状況について

SCに設置されている免税手続代行カウンターは 33 箇所となった(平成 29 年 4 月時点)。

② 免税売上げの状況について

夏と冬に実施している定例記者懇談会にあわせて、免税手続代行カウンターを設置しているSCを中心に免税売上げの状況をヒアリングした。

③ 国際旅行博覧会の出展に関するヒアリング

海外で開催される国際旅行博覧会に出展している会員企業 4 社に、インバウンド対策としての効果についてヒアリング等を行い、併せてSC協会としての出展ニーズがあるか探った。当面、協会が出展する必要性は低いが、引き続き情報収集を継続する。

2) アウトバウンド(海外事業展開)に資する情報の提供

海外(主に東南アジア)事業展開を図ろうとしている会員企業同士のビジネス交流を目的に、「アウトバウンド支援交流会」を、10 月 19 日に協会会議室にて開催した。参加者は 22 社・28 名。

3) 海外に向けた情報発信

CASC(COUNCIL OF ASIAN SHOPPING CENTRES=インドネシア、マレーシア、中国、香港、台湾のSC団体の連合体)の参加者に、興味を持っていた日本の接客ロールプレイングの紹介DVDを作成し、3 月に送った。

4) 国際交流

① APRC(Asia-Pacific Research Council Meeting)

ICSCが主催するアジア太平洋地域の調査委員会であるAPRCが 10 月 10 日に、フィリピン・マニラで開催され、専務理事と事務局員が出席して、情報交流を行った。

② 香港SC協会(ISCM)の日本SC協会訪問について

CASCのメンバーでもある香港SC協会(ISCM)25 名が日本で視察ツアーを実施、親睦と情報共有を目的に 10 月 14 日、日本SC協会を訪れた。専務理事と事務局員が日本のSCの現況等について紹介した。

5) 平成 29 年度税制改正要望について

平成 29 年度税制改正要望を取りまとめるにあたり、公共政策・環境委員会と連携した。内容は次のとおり。①免税最低購入金額を、一般物品と消耗品の合計で 5,000 円以上とする。②将来的な免税手続きの電子情報化を検討する。③現在、大規模小売店舗立地法において 1 店舗として届出した範囲内で免税手続代行カウンターの設置を認められているが、近接する場合など、一定の条件のもとでは複数のSCで同一の免税手続代行カウンターを、同一DVにより設置・利用できることとする。

5. 人材育成委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1)第1回委員会<4月15日>

- 1)通信教育平成27年度学校長賞候補者について
- 2)総務委員会(人材確保対策小委員会)からの提案について
- 3)セミナー企画案(8~10月実施予定セミナー)について
- 4)海外研修ツアー企画案(9月米国東海岸)について
- 5)10周年を迎えるSCアカデミーについて

(2)第2回委員会<6月16日>

- 1)セミナー企画検討会議案について
- 2)セミナー企画案(地方開催及び11~12月実施予定)について
- 3)海外研修ツアー企画案(11月アジア及び2月欧州)について
- 4)SCアカデミー10周年記念イベント概要について

(3)第3回委員会<10月7日>

- 1)セミナー企画案(2~3月実施予定)について
- 2)海外研修ツアー企画案(2月米国西海岸)について
- 3)通信教育のテキスト改訂について

(4)第4回委員会<12月3日>

- 1)平成29年度基本方針案及び事業計画案について
- 2)平成29年度セミナー企画案(4~5月実施予定)について

(5)第5回委員会<2月17日>

- 1)平成29年度基本方針案及び事業計画案・予算案について
- 2)平成29年度セミナー企画案(4~7月実施予定+緑陰トップフォーラム)について

2. 主な活動報告

(1)総括

セミナーは平成28年度から委員の皆様にもさらにお力添えいただき、7月から「セミナー企画会議」を設置。新規セミナーを中心に企画内容の深掘りを図り、講師候補の選出にあたって早くも効果が出ている。今後について会議の充実を図り、セミナー参加者数の増加を目指した。

海外研修は9月のニューヨークを中心とした「米国東海岸」(ニューヨーク、カナダ)、3月の米国の老舗SC~最新SCの流通事情を学べる「米国西海岸」(ロサンゼルス、サンフランシスコ)の2本を催行した。

通信教育はSC経営士試験受験者の増加にともない、試験勉強のために通信教育受講の活用や、新入社員などの教育カリキュラムとして位置づけている企業も多々見られる。

SCテナントスタッフハンドブックは、サポート関連(テナント店長研修会)で、SCテナントスタッフハンドブックを教材に用いたカリキュラムを提案し、実施に至った例が出ている。こうした事例を参考にすることで販路拡大に努めていく。

サポート関連事業はWebサイトを使って告知を強化したこともあって、受注件数が徐々に増えて(実績533件/目標400件)、派遣した講師の評価も高いため、リピートにつながっている。

SCアカデミーは第10期生48名が受講し、「SC序論(合宿)」、「SC総論Ⅰ」、「SC総論Ⅱ」、「SC経営実践論」、「特別研修」の5コースで実施し、また、「SC総論Ⅰ」、「SC総論Ⅱ」、「SC経営実践論」コースの最終単元の際には、理解力を高める目的でグループディスカッションを設け、48名全員が修了した。

(2)事業報告

1)セミナー

年度	開催数	参加者数		
		実績 (a) (1回当たり平均参加者数)	目標 (b) (1回当たり平均参加者数)	比較増減 (a)-(b)
28年度	45本	1,951名(43.3名)	2,081名(46.2名)	-130
27年度	46本	1,829名(39.8名)	1,960名(43.0名)	-131

2)海外研修

年度	開催数	参加者数		
		実績(a)	目標(b)	(a) - (b)
平成28年度	2回	68名	67名	1名
平成27年度	3回	85名	75名	10名

ツアー名	開催期日	訪問都市	参加者数		
			実績(a)	目標(b)	(a)-(b)
第133回	9/29～10/5(7日間)	米国東海岸 (トロント、ニューヨーク)	36	34	2
第134回	3/1～7(7日間)	米国西海岸 (ロサンゼルス、サンフランシスコ)	32	33	-1

3)通信教育

講座名	受講者数(人)			
	28年度		27年度	
	実績(a)	目標(b)	実績(a)	目標(b)
SC開発講座	179	180	220	155
SC管理運営講座	523	510	573	501
合計	702	690	793	656

4)SCテナントスタッフハンドブック 販売数 642冊(予算 680冊 平成27年度実績 366冊)

5)サポート関連(研修講師派遣) 実施数 533件(予算 400件 平成27年度実績 450件)

6)SCアカデミー

第10期は第9期(平成27年度)より4名多い受講生48名でスタートした。カリキュラムは「SC序論(合宿)」、「SC総論Ⅰ」、「SC総論Ⅱ」、「SC経営実践論」、「特別研修」のコースで実施した。「SC総論Ⅰ」、「SC総論Ⅱ」、「SC経営実践論」の最終単元では、コースごとの理解力を高める目的でグループディスカッションを実施した。また、SCアカデミー開講10周年の記念イベントを実施した。

6. 情報委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1)第1回委員会 <7月7日>

1)報告事項

- ①平成28年度基本方針・事業計画
- ②第1四半期の活動報告
- ③月刊誌9月号特集企画について

2)審議事項

- ①月刊誌10月号特集企画について
- ②月刊誌連載新企画について

(2)第2回委員会 <12月7日>

1)報告事項

- ①7月～12月上旬の活動報告
- ②平成28年度4月～10月収支報告

2)審議事項

- ①平成29年度月刊誌年間特集テーマ案について

(3)第3回委員会 <3月2日>

1)報告事項

- ①平成28年度事業報告
- ②平成28年度収支見込
- ③月刊誌特集テーマについて
- ④月刊誌特集企画について

2)審議事項

- ①平成29年度協会活動基本方針(案)
- ②平成29年度事業計画(案)
- ③平成29年度収支予算(案)
- ④月刊誌電子書籍化の検討について
- ⑤月刊誌連載新企画について
- ⑥広告掲載料について

(4) 編集会議(月刊誌特集)

下記日程にて7回開催。()内は開催日。

10月号(7月27日)、11月号(8月25日)、12月号(9月25日)、2017年1.2月合併号(10月25日)、4月号(2017年2月1日)、5月号(2月28日)、6月号(3月29日)

2. 主な活動報告

(1) 総括

月刊誌『SC JAPAN TODAY』の特集では、情報委員会委員および各委員会の協力のもと、タイムリーな情報を掲載するとともに、本誌の強みでもある実務的なケーススタディの紹介に努めた。なかでも10月号では「居心地のよいSCとは ～売上アップの鍵は滞留時間増～」と題し、昨今のSCの動向を捉えたテーマを掲げて特集を組んだ。モノ消費からコト消費へ、eコマースの急伸などSCを取り巻く環境が変化するなか、実店舗であるSCの来館者に滞留してもらうための取り組みなどを紹介した。

広報活動では、協会Webサイトやメルマガ、プレスリリースを通じて適宜情報発信した。また定例記者懇談会を年2回、7月と12月に開催し、SC動向や協会活動状況について報告するとともに、協会役員とマスコミとのネットワークづくりを図った。

(2) 事業報告

1) 月刊誌

① 特集テーマ

号	特集	
2016年度	4月号	SC開発・管理のキホン ～これだけはおさえないSC知識～
	5月号	人材不足をいかにして克服するか
	6月号	SC and? or? EC ～eコマース最前線を追え～
	7、8月合併号	アジアSC最新事情 ～アセアン消費市場への挑戦～
	9月号	SNSを活用する“今どき人”へ ～SCのモバイルファーストを考える～
	10月号	居心地のよいSCとは ～売上アップの鍵は滞留時間増～
	11月号	売れない時代に売れる店 ～専門店の未来～
	12月号	地域の核をめざせ！ ～運営力を高める単館SC～
	1.2月合併号	Beyond 2020 ～次世代のSCを探る～
	3月号	第41回日本シヨンプイングセンター全国大会

② 月刊誌「人材確保対策」に関連した連載について

月刊誌にて会員企業等の取り組みを次のとおり紹介した。

号	企業／タイトル	分類
7・8	(株)グルメ杵屋／「ロープレ、SC接客マイスターでモチベーションをアップ！」	①販売職の魅力度向上
9	阪急阪神ビルマネジメント(株)／「採用激戦地区での人材確保 ～人材サービス会社と連携した取り組み～」	④採用・雇用状況の改善
10	日本サブウェイ(株)／「日本語習得意欲の高い外国人留学生を青田買い ～採用フローのパッケージ化に取り組む日本サブウェイ～」	④採用・雇用状況の改善(外国人)
11	(株)ライトオン／「現場主義を基本理念に、研修制度・明確な評価・円滑なコミュニケーションが人材確保の秘訣」	③ESの充実・労働環境の改善④採用・雇用状況の改善

12	(株)スタジオアリス／「退職者のスキルを『見える化』し即戦力として再雇用 ～女性が活躍できる環境づくりに取り組む『スタジオアリス』」	④採用・雇用状況の改善 (女性)
1・2	(株)トリドールホールディングス／「その人らしい “温かみのある接客” で顧客をファン化～中高年人材ならではの視点を大切にす る丸亀製麺～」	④採用・雇用状況の改善 (シニア)
3	神戸SC開発(株)／「営業時間の短縮～SCの社会政策として～」	②営業時間・休業日の見直し

2)広報活動

①Webサイト掲載及びプレスリリース発信

販売統計、SCアカデミー、定期総会、記者懇談会、SC経営士制度25周年イベント、SC接客ロールプレイングコンテスト支部大会、全国大会など合計37回、プレスリリースを配信。

②メルマガ配信

毎月月末に配信。主な内容は、協会活動、セミナー募集等。配信数約5600件／回。

③定例記者懇談会

定例記者懇談会を7月29日と12月22日の2回開催し、SC業界の動向および協会活動報告、協会役員とマスコミとの交流、歓談を行った。

④取材対応(主なもの)

次のとおり対応した。

- 1.読売新聞福井支局(7/20)協同組合型SC(福井方式)現状と問題点
- 2.日本テレビ「ニュース EVERY」(9/14)LC ワールド本巢について
- 3.TBS「あさチャン」(9/16)LC ワールド本巢関連
- 4.日経 BP 社「日経ビジネス」(9/20)1995 年以降のSC数、面積などの時系列推移
- 5.TBS報道局経済部(9/29)「N スタ(18 時)」、「ニュース 23(23 時)」。そごう柏店 9 月 30 日閉店に関連し、SCデータ提供
- 6.愛知 TV「サンデージャーナル」(11/10) 愛知県及び名古屋市のSC数の推移
- 7.フジテレビ「カインとアベル(月 9 ドラマ)」(9 月) 協会出版物の提供
- 8.東京ビデオセンター(11/25)NHK の新番組企画で、接客ロールプレイングコンテストについて
- 9.テレビ東京「メリクリウスの扉」(12/13)50000 m²以上のSCについて
- 10.中国新聞(2017.1/30)昨今のSC動向について

7. 調査研究委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回委員会 <7月7日>

1) 報告事項

- ①平成28年度事業計画骨子について
- ②SC白書2016及び各種報告書について
- ③月間SC販売統計調査報告
- ④2016年上期オープンSCについて

2) 審議事項

- ①平成28年度事業計画の実施スケジュールについて
- ②月間SC販売統計調査のサンプル増について
- ③賃料・共益費調査の実施について
- ④夏期バーゲン調査の実施について
- ⑤SCテナント会の実態調査について
- ⑥「人材確保対策の取組み」に関する調査について
- ⑦SC用語辞典の改訂について

(2) 第2回委員会 <11月2日>

1) 報告事項

- ①月間SC販売統計調査報告
- ②平成28年夏期セール調査報告
- ③各種出版物の販売報告
- ④2016年オープンSC調査報告

2) 審議事項

- ①賃料・共益費調査について
- ②SCテナント会実態調査の実施について
- ③人材確保対策の取組みに関する調査について
- ④SC用語辞典の改訂について
- ⑤年末・年始販売統計調査について

(3) 第3回委員会 <3月16日>

1) 報告事項

- ①2016年末SC概況およびSC販売統計調査報告
- ②各種出版物の販売報告
- ③SCテナント会実態調査結果について
- ④人材確保定量調査結果について
- ⑤賃料・共益費調査結果について
- ⑥平成28年度総括
- ⑦平成28年度収支見込み

2) 審議事項

- ①平成29年度事業計画骨子(案)
- ②平成29年度収支予算(案)
- ③SC白書2017の構成について
- ④SC用語辞典の改訂について

【SC用語等標準化研究小委員会】

(1) 第1回小委員会 <11月2日>

- 1) 審議事項
 - ①全体スケジュールについて
 - ②改訂の方針について
 - ③SC用語辞典の販売状況について

(2) 第2回小委員会 <2月28日>

- 1) 審議事項
 - ①新語の選定基準について
 - ②削除候補の選定について
 - ③スケジュールについて

2. 主な活動報告

(1) 総括

平成28年度事業計画で予定したSCオープン情報や計画情報の提供、SC白書の作成、既存調査(SC販売統計調査、賃料・共益費調査)、平成27年度に実施した人材確保定量調査の継続調査と新規調査としてSCテナント会実態調査とを実施した。また、SC用語辞典の改訂に着手した。

(2) 事業報告

1) 調査・分析活動

①「SC販売統計調査(各月)」【毎月HPに掲載】

【SC既存店売上高前年比の推移】

2016年3月▲2.1%、2016年4月▲1.0%、2016年5月▲1.8%、2016年6月▲1.4%、2016年7月+1.4%、2016年8月▲4.4%、2016年9月▲4.0%、2016年10月+0.9%、2016年11月0.0%、2016年12月▲0.1%、2017年1月▲1.2%、2017年2月▲3.2%、2017年3月+0.3%

②夏期バーゲンセール調査の実施【HPに掲載】

2016年夏期バーゲンセールの販売動向について会員企業にアンケート調査を行った。

③2016-2017年末年始販売統計調査の実施【HPに掲載】

2016-2017年末年始の販売動向について会員企業にアンケート調査を行った。

2) SC賃料・共益費調査 2016

平成28年12月に発刊し協会HP内の会員ページに掲載した。また、会員外向けにCD-ROMを製作し販売した。調査協力SC数は306SC。

3) SC白書 2016【5月19日発行】

テーマ/『次世代への挑戦、変革期のSC経営』

コンテンツ/1. 2015年のSC業界動向、2. 海外のSC概況、3. 資料編

4) SCオープン、計画情報およびSC基礎データ一覧の更新

5) SCテナント会実態調査(新規調査)

SCテナント会の現状について会員企業に調査を行った。結果をHP内会員ページに掲載。

6) 「人材確保対策の取組み」に関する調査

平成27年度の継続調査として実施した。結果をHP内の会員ページに掲載。

7) SC用語辞典改訂

SC用語辞典の改訂作業に着手した。

8. SC経営士委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

<SC経営士委員会>

- (1) 第1回委員会 <6月24日>
 - ①SC経営士の認知度向上の取り組み施策(案)
 - ②SC経営士のシンボルマーク(ロゴ)制作について
 - ③SC経営士制度発足25周年記念イベントについて
 - ④SC経営士試験制度検討ワーキンググループ設置案について
 - ⑤SCマネジメントブック改訂WG状況について
 - ⑥平成27年度登録更新における失効の取り消しについて
 - ⑦SC経営士会 活動予定について
- (2) 第2回委員会 <9月9日>
 - ①第25期SC経営士一次試験結果について
 - ②第25期SC経営士二次試験について
 - ③SC経営士試験制度検討ワーキンググループ設置案について
 - ④日本型SC新マネジメントの指針(案)について
 - ⑤SC経営士のシンボルマーク(ロゴ)について
 - ⑥SCマネジメントブック改訂版 進捗状況について
 - ⑦SC経営士会 活動予定について
- (3) 第3回委員会 <12月18日>
 - ①第25期SC経営士二次試験結果について
 - ②平成29年度基本方針案について
 - ③平成28年度中 今後のSC経営士会 活動予定について
- (4) 第4回委員会 <3月3日>
 - ①平成29年度基本方針、事業計画案及び予算案について
 - ②第26期SC経営士試験について
 - ③平成29年度登録更新講習について
 - ④SC経営士試験制度見直しについて

<SC経営士試験実行委員会>

- (1) 第1回委員会 <5月13日>
 - ①第25期SC経営士試験問題項目について
 - ②一次・二次試験の複数体制について
- (2) 第2回委員会 <6月24日>
 - ①第25期SC経営士試験問題
 - ②二次試験
- (3) 第3回委員会 <7月15日>
 - ①試験問題と解答の精査
 - ②二次試験論文テーマ案
 - ③試験当日(9/2(金))の試験監督官
 - ④マークシート採点時
 - ⑤一次試験から二次試験までの日程
- (4) 第4回委員会 <9月9日>
 - ①第25期SC経営士一次試験結果
 - ②二次試験論文テーマ案
 - ③二次試験口頭試問
- (5) 第5回委員会 <12月15日>
 - ①第25期SC経営士二次試験結果・合否判定について
 - ②今年度SC経営士試験の反省点と課題について

- (6) 第6回委員会 <3月15日>
 ①SC経営士試験問題作成マニュアル
 ②問題作成の体制

2. 主な活動報告

(1) 総括

昨年度は、SC経営士が誕生して25周年を迎えるにあたり、記念イベントを開催し、またSC経営士のシンボルマーク(ロゴ)を制作し、SC業界において更なる認知度向上・ステータスの向上に取り組んだ。第25期SC経営士試験は236名が受験し、合格した48名が新たにSC経営士として登録される。昨年よりワーキンググループを立ち上げ、取り組んできた「SCマネジメントブック」について、昨年の11月に第3版が発行された。

SC経営士会は研鑽と交流を目的に、春、初夏、冬の3回の例会と各ブロックにおいてセミナーを実施した。

(2) 事業報告

1) SC経営士制度発足25周年イベント

日時：2016年11月25日(金)16:00～21:00

会場：AP東京八重洲（東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル）

参加者：140名

○第1部(16:00～17:15) SC経営士ワークショップ

○第2部(17:30～18:30) SC経営士プレゼンテーション

○第3部(19:00～21:00) 参加者交流会

2) 第25期SC経営士試験

一次試験(9月2日/東京・大阪)は236名が受験し52名が合格(合格率22.0%)。二次試験は「一次試験合格者」(旧称:SC経営士補)を含め58名が受験対象となり、その内10名がSCアカデミー修了生につき二次試験が免除された。4名が辞退し、二次試験を44名が受験した。論文、口頭試問(12月6日(大阪)・12月8・9日(東京))を総合的に検討した結果、38名が合格(合格率86.4%)、免除対象者10名と合わせた48名が最終合格者となった。これで、SC経営士は総計573名となる。また、1月25日～27日に開催された第41回日本ショッピングセンター全国大会初日に、認定証授与式が行われ、清野会長より認定証が授与された。

3) 平成28年度SC経営士登録更新講習

平成28年度登録更新対象者58名の内訳

更新講習受講者	52名	(平成27年度 東京…22名、大阪…4名) (平成28年度 東京…20名、大阪…6名)
論文提出者	1名	論文はSC経営士委員長及び専務理事が確認する
更新意思なし	4名	
連絡先不明	1名	

大阪会場:平成28年9月1日(木)13:00～18:00 会場:大阪ターミナルビル(株)・会議室

東京会場:平成28年10月13日(木)13:00～18:00 会場:日本SC協会・会議室

4) 冠講座への協力

総務委員会主管の大学での冠講座(寄附講座)について、SC経営士会と連携し、講師派遣に協力した。

実施時期	大学名	備考
前期	宮城学院女子大学	
前期	明治大学	ゼミ形式を採用
後期	大阪市立大学	

9. 全国大会実行委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 第1回全国大会実行委員会 <6月21日>

1) 報告事項

- ①第4回全国大会実行委員会報告
- ②平成28年度の全国大会実行委員会の基本方針と事業計画
- ③小委員会の開催報告
- ④「ICSC RECon / ラスベガス」の視察研究について

2) 審議事項

- ①SCビジネスフェア2017出展募集
- ②シンポジウム・セミナーについて
- ③併催イベント
- ④SC業界研究イベントの開催

(2) 第2回全国大会実行委員会 <9月30日>

1) 報告事項

- ①第1回全国大会実行委員会報告について
- ②SCビジネスフェア、シンポジウム・セミナー、SC業界研究イベントの進捗状況について

2) 審議事項

- ①SCビジネスフェア(出展募集、ゾーニング、会場デザインの業務委託、併催イベント)
- ②シンポジウム・セミナー(プログラム、懇親パーティー、参加者募集)
- ③第42回日本SC全国大会の日程について

(3) 第3回全国大会実行委員会 <11月24日>

1) 報告事項

- ①第2回全国大会実行委員会報告について
- ②SCビジネスフェア(出展者、ブースレイアウト、SC業界研究イベント、併催イベント)
- ③シンポジウム・セミナー(当日運営、参加者募集、広告募集)

2) 審議事項

- ①SCビジネスフェア(開催までの準備スケジュール、併催イベント企画、来場者募集活動、インキュベート出展、当日運営)
- ②シンポジウム・セミナー(当日運営、参加者募集)

(4) 第4回全国大会実行委員会 <2月21日>

1) 報告事項

- ①SCビジネスフェア2017開催結果(SCビジネスフェア、SC業界研究イベント、SCビジネスフェア収支予測、シンポジウム・セミナー、シンポジウム・セミナー収支予測)

2) 審議事項

- ①SCビジネスフェア2018事業計画骨子(案)(SCビジネスフェア、シンポジウム・セミナー)
- ②収支予算(案)(SCビジネスフェア、シンポジウム・セミナー)

(5) 第1回リーシング小委員会 <5月13日>

1) 審議事項

- ①リーシング小委員会活動方針
- ②出展募集活動計画(目標:テナント145小間、海外ディベロッパー誘致)
- ③ICSCのラスベガスへの委員派遣について

- (6) 第2回リーシング小委員会 <7月8日>
 - 1) 審議事項
 - ①出展募集活動の進捗状況について
 - ②今後の募集活動について
 - ③海外ディベロッパーエリアについて
- (7) 第3回リーシング小委員会 <9月9日>
 - 1) 審議事項
 - ①出展募集状況について
 - ②今後の募集活動について
 - ③海外ディベロッパーブースについて
- (8) 第1回シンポジウム・セミナー小委員会 <4月22日>
 - 1) 審議事項
 - ①プログラムおよびセミナー企画について
 - ②懇親パーティーの会場について
 - ③広告募集について
 - ④役割分担について
- (9) 第2回シンポジウム・セミナー小委員会 <6月21日>
 - 1) 審議事項
 - ①プログラムについて
 - ②有料セミナーの参加形態および参加料について
 - ③講演料について
 - ④広告募集について
 - ⑤懇親パーティー会場について
- (10) 第3回シンポジウム・セミナー小委員会 <9月30日>
 - 1) 審議事項
 - ①プログラムについて
 - ②参加者募集について
- (11) 第4回シンポジウム・セミナー小委員会 <11月24日>
 - 1) 審議事項
 - ①当日の運営について
 - ②参加者募集について
- (12) 第5回シンポジウム・セミナー小委員会 <2月21日>
 - 1) 報告事項
 - ①シンポジウム・セミナー総括(事業報告、収支見込)
 - 2) 審議事項
 - ①SCビジネスフェア2018 計画概要(案)
 - ②シンポジウム・セミナー(事業計画(案)、プログラム骨子(案)、予算(案))
- (13) 第1回SC業界合同企業説明会小委員会 <6月1日>
 - 1) 審議事項
 - ①第3回SC業界研究イベント会場の変更(案)について
- (14) 第2回SC業界合同企業説明会小委員会 <7月8日>
 - 1) 審議事項
 - ①第3回SC業界研究イベント実施計画(案)について
 - ②SC業界研究イベント概要説明会&交流会(案)について

(15) 第3回SC業界合同企業説明会小委員会 <9月15日>

1) 審議事項

- ① 第3回SC業界研究イベント実施内容について
- ② SC業界研究イベント概要説明会&交流会(案)について

(16) 第4回SC業界合同企業説明会小委員会 <11月15日>

1) 審議事項

- ① イベントプログラムについて
- ② 会場レイアウトについて
- ③ 学生募集について
- ④ 企業募集について

2. 主な活動報告

(1) 総括

「SCビジネスフェア 2017」の来場者数は、展示ホールで開催したSCビジネスフェア(商談展示会)及び無料セミナーで延べ55,200人(前回61,000人)となり、そのうち併設の学生向けSC業界研究イベント(1月25日、26日開催)の学生参加者は502名(前回476名)だった。展示ホールでは出展者、来場者による活発な情報交流・商談が行われた。

出展者や全国大会実行委員らがゾーンごとに投票する「優秀ブース賞」の金賞には、東急グループ(ディベロッパーゾーン)、アダストリア(テナントゾーン)、コンバートコミュニケーションズ(サポート企業ゾーン)がそれぞれ選ばれた。

隣接するアネックスホールでは有料セミナーや懇親パーティーが開催され、延べ1,800名(前回2,000名)が参加した。

以上、第41回日本SC全国大会「SCビジネスフェア 2017」は成功裡に終了した。

(2) 事業報告

1) SCビジネスフェア

① 展示規模及び来場者数について

- ・会場 展示ホールABC(13,300㎡)を使用。
- ・展示規模 244社・552小間(前回249社・536小間)で、小間数は前回は上回った。
- ・来場者数 延べ55,200人(前回延べ61,000名)で、前回より5,800人減少した。
(SC業界研究イベント41社・41小間、学生数502人を含む)

② 会場内の回遊性について

- ・展示ホールA・B・Cの出入口(4箇所)はすべて開放。
- ・Bホール出入口に、出展ブースをイメージしたオブジェ(ダンボール製)と、受付を近くに設置。そこからの入場が最も多かったが、入場後に人の流れが分散し、結果として会場全体の回遊性が向上した。

③ 運営面・その他について

a. 復興応援コーナー

- ・会場中央からCホール側の入口から見えるところに移動した。
- ・5団体が参加。東北3県と大槌町刺し子プロジェクト、女川町が参加。熊本県は人員の手配がつかないことからポスターとパンフレットでの参加となった。

b. 出展者交流パーティー

- ・前回より減少し約570人が参加。
- ・参加者のネームプレートを当日受付渡しから事前送付にした。また、当日の有料申込み、現金対応から請求書払いにし、受付の簡略化を図った。

c. ブース賞の表彰

- ・出展者交流パーティーでのブース賞の表彰は、交流時間を確保するために、壇上での賞状受け渡しと受賞者のコメントの時間短縮を図った。

2) シンポジウム・セミナー

a. セミナー申込者数

・初日懇親パーティーを含む有料セミナーは前回(794名/3日間開催)を超える818名、無料セミナーも前回(2,945名)を超える3,287名の申込者数であった。

b. 講師陣

・講師交渉が難航したものの、集客が望める講師陣に決定した。そのため、開催日数が1日減となったにもかかわらず、昨年を上回る申込者数となった。

c. 運営

・事前の申込受付業務および当日の受付や進行を昨年同様委託し、大きな問題はなく、スムーズな運営ができた。

d. プログラム

・経済学者の竹中平蔵氏、ルミネの新井社長と著名人にご講演いただき、基本方針にもある通常セミナーでは聴くことのできないセミナーを提供できた。

e. 懇親パーティー

・30回以降で最高の738名のお申込みをいただいた。

3) 学生向けSC業界研究イベント

①参加企業数について

今回は、会場をCホール側からAホール側に移し、2日間開催した。参加企業は、2日間で41社・41小間であった。

②学生来場者数について

1月26日(木)219人、27日(金)283人の計502人(前回1日開催 476人)

③イベントのコンテンツごとの結果について

a. SC業界説明聴講者 計 298人(26日:123人/27日:175人)

b. SCビジネスフェア見学ツアー 計 104人(26日:49人/27日:55人)

c. 1月25日の限定企画

東京都市大学の学生を中心に、14人が参加。事務局からSCの動向について説明した後、SCビジネスフェアのブース(イオンモール、JLLモールマネジメント、ルミネ)を訪問し、会社概要など説明をしていただいた。

④次回に向けて

就活スタート前の学生向けイベントとなって3回目の開催。学生の参加人数は、2日間開催で全体数は増えたものの、人数は2日間に分散してしまった。また、会場を移動したことで、天井照明もやや暗くなってしまい、隣がSCビジネスフェアのアミューズメントブースであったため、時々大きな音がして、学生から声が聞き取りづらいなど、音に対する指摘があった。一方、参加者の評価は前回同様高く、さらに学生へのSC業界認知度向上に向けて、SC業界研究イベントの強み(=学生へのメリット)をいかにして伝えて、学生の来場につなげるかが課題である。

ここから企業の個別説明会に学生が進み、最終的に内定につながる業界研究イベントとなるよう、小委員会で検討していきたい。

10. 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

(1) 接客ロールプレイングコンテスト実行委員会

- 1) 第1回委員会 <4月20日>
 - ①ロールプレイングコンテスト新判定基準について
 - ②新審査票情報公開までのスケジュール
- 2) 第2回委員会 <7月20日>
 - ①第22回支部大会開催要領について
 - ②SC接客マイスター検定制度について
- 3) 第3回委員会 <12月14日>
 - ①SC接客マイスター試験 実技試験合否判定について
 - ②支部大会における課題について
 - ③全国大会の運営について
 - ④全国大会競技者の記念写真について
 - ⑤審査時間の活用について
- 4) 第4回委員会 <2月24日>
 - ①支部大会における課題について
 - ②平成29年度基本方針(案)・事業計画(案)および予算(案)について
 - ③SC接客マイスター試験の合否判定について

(2) SC接客マイスター試験実行小委員会

- 1) 第1回委員会 <12月5日>
 - ①SC接客マイスター検定実技試験合否判定について
 - ②筆記試験について
 - ③今後のSC接客マイスタースケジュールについて
- 2) 第2回委員会 <2月14日>
 - ①SC接客マイスター筆記試験について
 - ②SC接客マイスター試験合否判定について
 - ③今後のSC接客マイスタースケジュールについて
 - ④次年度筆記試験問題作成スケジュールについて
- 3) 第1回委員会WG会議 <7月1日>
 - ①試験問題の最終精査について
 - ②筆記試験問題確定までのスケジュールについて
 - ③試験の運営実施スケジュールについて(受験者のエントリーについて)

(3) 実技試験判定基準作成会議

- 1) 第1回会議 <2月13日>
 - ①ロープレコンテスト新基準を導入した結果について(今期のふりかえり)
 - ②ロープレコンテスト新基準次期修正ポイントの検討
 - ③客役俳優の教育に関して

(4) 接客ロールプレイングコンテスト新判定基準説明会開催

- 1) 第1回開催 <7月14日>
- 2) 第2回開催 <7月28日>
 - ①説明会開催趣旨と新判定基準導入の目的
 - ②新判定基準の内容
 - ③審査項目の説明
 - ④SC接客マイスター制度1級～3級の定義の共通認識について
 - ⑤新判定基準の採点試行(2015年支部大会 動画使用)
 - ⑥試行後のチェックポイントの確認

2. 主な活動報告

(1) 総括

1) ロールプレイングコンテスト

2016年9月5日の関東・甲信越大会を皮切りに、全国7支部8地区において開催された支部大会には、511のショッピングセンター(第21回:507)から1,012名の競技者(第21回:1,013名)が参加。26名の支部代表者が、1月27日(金)開催の全国大会に集結した。

全国大会大賞「SC接客日本一」には「東京ソラマチ」フラワーデコの原田さんが選ばれた。原田さんは、「もう一度この人に接客してほしい」と思わせるような人間力が審査員に評価され、大賞「SC接客日本一」、経済産業大臣賞に選出された。

2) SC接客マイスター検定制度

SC接客マイスター試験は、平成28年度から事前申込を開始し、ロールプレイングコンテスト支部大会に出場した1,012名中、369名の申込があった。実技試験の結果360名が合格し、実技試験2級・3級合格者を対象にした初のWeb筆記試験後の最終合格者は、1級44名2級50名3級208名の合計302名となった(1級は筆記試験免除のため、認定証・バッジ希望者数)。

また、2015年度実技試験2級・3級合格者は、今年度受験者と同時に226名が筆記試験を受験し、210名が合格した。

(2) 事業報告

1) ロールプレイングコンテスト

①支部大会

地区	開催日程	会場
北海道	11月11日(金)	JRタワープラニスホール(札幌エスタ11F)
東北	11月7日(月)、8日(火)	ホテルメトロポリタン仙台
関東・甲信越	9月5日(月)～9日(金)	丸ビルホール(丸ビル7F)
東京	9月26日(月)～29日(木)	KFCホール(国際ファッションセンター)
中部	10月4日(火)、5日(水)	メインホール(名古屋市中小企業振興会館)
近畿	10月18日(火)～21日(金)	ホテル京阪京橋
中国・四国	10月31日(月)、11月1日(火)	広島YMCAホール
九州・沖縄	11月15日(火)、16日(水)	西鉄ホール(ソラリアステージ6F)

②全国大会受賞者一覧

(敬称略)

賞	氏名	SC名	店名	支部	
大賞・経済産業大臣賞	原田 千紘	東京ソラマチ	フラワーデコ	東京	
食品・飲食・サービス部門	優勝	三浦 紀映	セルバ	お茶の井ヶ田 喜久水庵	東北
	準優勝	武田 勝味	ヌー茶屋町プラス	割烹そば神田	近畿
ファッション・物販部門	優勝	岩本 紗季	阪急西宮ガーデンズ	キャサリンロス	近畿
	準優勝	西澤 真里沙	ルクア イーレ	イセタン クローゼット	近畿
審査員長賞	内田 歩美	ラスカ茅ヶ崎	無印良品	関東・甲信越	

※上記受賞者以外のすべての全国大会出場者は、「優秀賞」受賞。

③協賛金 135 口 6,750 千円

67 社より延べ 135 口 6,750 千円のご協賛をいただいた。(予算:130 口 6,500 千円)

2) SC接客マイスター検定制度

SC接客マイスター2015、2016 試験結果(人数)

2016年度(ロールプレイングコンテスト出場者1,012名)

(人)

	1級	2級	3級	不合格	合計
実技試験結果(申込者)	37	57	266	9	369
全国大会出場者(事前申込なし)	14				



筆記試験受験者		54	238		292
---------	--	----	-----	--	-----



最終合格者 (1級は認定証・バッジ希望者、 2級・3級は筆記試験合格者)	44	50	208		302
--	----	----	-----	--	-----

2015年度(ロールプレイングコンテスト出場者1,013名)

(人)

	1級	2級	3級	不合格	合計
実技試験結果(全員)	92	170	635	116	1,013



筆記試験受験者		75	151		226
---------	--	----	-----	--	-----



最終合格者 (1級は認定証・バッジ希望者、 2級・3級は筆記試験合格者)	73	75	135		283
--	----	----	-----	--	-----

※2015年度は、ロールプレイングコンテスト出場者1,013名全員を対象に実技試験を審査

※1級は、筆記試験免除

11. 第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞選考委員会

1. 委員会開催状況および審議事項

- (1) 第1回委員会 <7月8日>
 - 1) 考え方について
 - 2) 選考方法、評価基準、表彰等について
 - 3) 支部ノミネート委員会について
- (2) 第2回委員会 <7月21日>
 - 1) 実施要綱について
 - 2) 大賞候補SC視察について
- (3) 第3回委員会 <12月21日>
 - 1) 各支部ノミネートSCの検討について
 - 2) 現地視察およびヒアリングするSCについて
- (4) 第4回委員会 <3月13日>
 - 1) 第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞各賞の選定について
 - 2) 次回日本SC大賞・地域貢献大賞実施にあたっての検討事項について

2. 主な活動報告

(1) 総括

平成28年度第1回理事会(平成28年4月27日)及び第44回定期総会(5月19日開催)にて、「第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞」の実施基本計画が承認され、今年度に選考委員会、各支部ノミネート委員会を立ち上げ、選考を行った。

第1回選考委員会(7月8日)・第2回選考委員会(7月21日)で策定した実施要綱に基づき、各支部で一次選考を行いノミネートされたSCについて、第3回選考委員会(12月21日)で最終候補SCの絞り込みを行った。そのうち日本SC大賞最終候補の5SCについては、第41回日本SC全国大会初日(平成29年1月25日)に発表した。最終候補となった各SCについては選考委員が現地調査を行った。

第4回選考委員会(3月13日)にて日本SC大賞、地域貢献大賞の各賞を決定した。

(2) 事業報告

1) 「第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞」実施要綱の策定

「第7回日本SC大賞・第5回地域貢献大賞」の実施要綱(考え方、選考方法、評価基準、表彰)を取り纏め、実施について、記者懇談会や協会HP等にて配信した。

また、人材確保対策の取り組みの一環として「ES賞」を新設し、ESの取組みがテナント従業員に評価されているSCを表彰することとした。

2) 支部ノミネートについて

各支部で8月以降にノミネート委員会を開催するにあたり、7月25日のノミネート委員長(支部長)会議で実施要綱を報告した。

8～11月にかけて各支部ノミネート委員会を開催し、12月1日にノミネートSCが提出された。

3) 各賞の決定について

12月に開催した第3回選考委員会で最終候補を絞り込み、1月25日第41回日本SC全国大会で発表した。3月開催の第4回選考委員会にて各賞を決定した。